



# 人の輪と集落の和

平成24年度事業報告書 平成25年度事業計画書



農事組合法人 酒人ふあ〜む URL <http://www.sakoudo.jp/>

## 目 次

○ ごあいさつ	1
○ 第14回通常総会次第	2
○ 第14回通常総会提出議案	3
○ 平成24年度事業報告書	
部門別事業報告	4～13
貸借対照表	14
損益計算書	15～17
平成24年度剰余金処分案	18
附属明細書	19～20
監査報告書	21
○ 平成25年度事業計画書	22～31
○ 組織図	32
○ 組合員名簿	33

## 組合員のみなさまへ

第14回通常総会を開催するにあたり一言ごあいさつを申し上げます。  
昨年の総会で新体制が承認され、新執行部では業務の遂行において第5次3ヶ年計画の基本方針は継承するも、新事業の推進については、トップダウンからミドルアップ・ミドルダウンへと変えてきました。

ここにその成果の一端を紹介申しあげますと、月次発行をいたしております「ふぁ～む通信」は、区民報と申してもよき内容に充実し、区民の皆様が配布を待たれるところとなっております。また、組合員の意向を取り入れ「地産地消」と「区民の交流」を目指した野菜等の直売「3土市」は、4月の開設以来大変好評で、回を重ねるごとに来客数が増えてきており、今や区民の食材提供になくてはならない存在となりつつあります。

これ一重に、若い人が「やってみよう」と積極的に取り組んでくれたことであり、組合員の皆様はもとより、関係各位のご支援のたまものと深く感謝申し上げます。

平成24年度を振り返りますと、上述の内容も含め「生産者自らが行動し、消費者に訴えていく努力が必要」との観点から、まずはその礎となる生産物の品質向上をと、計画どおり水稻の乾燥調製ラインの改善、あわせて商品としての包装資材の一新、更に組織一丸となった営業努力による直販比率の向上を目指す取り組みを行うことができました。

麦・大豆におきましては、麦作は前年度導入のバーチカルハローによる細土・均平排水作業が功を奏し、近年にない品質・収量を確保できました。大豆作は、天候等外部要因と雑草対策の遅れにより、品質低下と減収が余儀なきものとなりました。

一方、野菜作におきましては、JAならびに市指定野菜の栽培に取り組み、例年にない出来栄で「3土市」の開設と併せてその方向性が見えてきました。

総じて、全員の努力と頑張りにより計画どおりの営業収益を計上することができました。

さて、昨年12月13日で法人化10周年を迎えた我が組織ですが、今我々の前に立ちはだかる相手は、環太平洋連携協定(TPP)とそれを進めようとする産業界であります。かわすか、勝負するか、甲賀者の私たちに課せられた「甲賀」そのものの存続を賭けた戦(いくさ)であります。

第13回総会において、「勝負」と覚悟を固めた酒人ふぁ～むは、中期計画の最終年にあたり、より強靱な布石を打たなくてはなりません。一つには、徹底したマーケティングと付随する営業力の強化であり、もう一つは、TPPに左右されない収益構造の形成であります。

負けられない戦いに臨む決意をここに表明し、構成員の更なる連帯をお願い申し上げます。

平成25年2月24日

### 人は、人の為に成らずして、人にあらず

農事組合法人 酒人ふぁ～む

代表理事

福西義幸

## 第14回通常総会次第

と き：平成25年2月24日（日）

午後1時30分より

ところ：酒人公民館 2階大広間

1. 開会のことば
2. 代表理事あいさつ
3. 来賓ご祝辞

（ 休 憩 ）

4. 総会成立宣言
5. 議長の選任
6. 書記の指名
7. 議事
8. 閉会のことば

議長氏名	
------	--

議事録署名人	議長および出席理事
--------	-----------

組合員数	56人	出席人数	人
------	-----	------	---

## 第14回通常総会提出議案

第1号議案 平成24年度事業報告について  
平成24年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、  
剰余金処分案及び附属明細書の承認について  
P 4～P 21

第2号議案 平成25年度事業計画の承認について  
P 22～P 31

附帯決議 この総会において決議した事項のうち、行政庁に提出する書類で補正・変更を必要とする場合は、その趣旨に反しない範囲内において、その変更を理事会に一任する。

以上のとおり上程いたします。

平成25年2月24日

農事組合法人 酒人ふあ～む  
代表理事 福西 義幸

# 平成24年度事業報告書

## 部門別事業報告

### 生産部

#### [栽培]

24年度は、19年度から始まった農地・水環境保全向上対策が、1階と2階部分に切り離れた事業となり2階部分は環境保全型農業直接支援事業で地域の特認取組も在りますが、より厳しい条件の下での栽培管理が必要とされ、それに対応するべく取り組んだ一年でした。

滋賀県において水稻では作況指数は102とやや良であり、出穂期以降の天候が良かったおかげと考えられます。また、1等比率は15年ぶりに高水準となり全国平均以上となりました。麦では1等比率は大きく上回ったものの品質面における地域間格差が課題になっています。

本年度も、品質環境に配慮した栽培、コスト意識の徹底、的確な管理なかでも無化学肥料、無農薬栽培に取り組みましたが、まだまだ不十分なところもあります。今後には生かして生きたいと思えます。

生産物別に報告しますと、水稻については、全体として、収量アップやフレコン出荷によるコスト削減さらに羽二重糯を除いてオール1等という状況で色彩選別機の導入効果が発揮出来ました。ただ、除草体系は、満足する結果が得られず、課題が残されました。結果としては、米価高もありましたが例年より良い成績が打てました。

稲わら供給事業は、水稻の収穫後の天候にも恵まれ、大区画圃場を中心に収束することが出来、昨年と同様経営収支に貢献することが出来ました。

麦については、生育期間全般に渡って、順調に推移する中で施肥、防除の徹底により従来の数値まで上げることが出来ました。今後もこの数値を維持していきたいと思えます。

大豆については、特に「種子大豆」の圃場においては開花時期の少雨により立ち枯れ等を招き収量減となりました。ただ効果的な防除等で被害粒は少なくなったものの、雑草対策等が課題に残りました。選別についてはすこやか営農グループの皆様に連日、最後の磨きをかけて頂きました。

前年度から実施された畑作物（麦・大豆）の所得補償交付金は数量と品質両面において、評価されることからより安定した栽培管理に努める必要性を感じました。

野菜については、少量多品目への取組、契約栽培品目への取組により数多くの出荷と収入を得ることができたことは、両グループのそれぞれの作物において精一杯の取組をしていただいた結果です。只、いちじくにおいては、栽培管理等も含め、十分な対応が必要と思えます。酒人ふぁ～むとして日々の現金収入を支えているのは野菜栽培であることは事実であり、現金収入のアップには必要不可欠であります。



### ①穀類生産実績

水 稲	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反
うるち玄米	1851.4	94,421	1,573.7	8.5	1871.2	89,374	1,490	8.0
もち(羽二重)玄米	321.5	15,432	257.2	8.0	301.7	15,316	255	8.5
合 計	2,172.9	109,853	1,830.9	8.4	2172.9	104,690	1,745	8.0

小 麦	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反
農林61号	1,743.1	52,293	872	5.0	1,743.1	65,689	1,095	6.3
合 計	1,743.1	52,293	872	5.0	1,743.1	65,689	1,095	6.3

大 豆	計 画				実 績				
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量			
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反	
ふくゆたか	種子用	1,231.4	22,165	369	3.0	1,203.8	16,800	280	2.3
	一般用	511.7	10,731	179	3.5	483.5	8,700	145	3.0
合 計		1,743.1	32,896	548	3.17	1,687.3	25,500	425	2.5

※ 種子用大豆はJA調整数量 一般大豆は予定数量です。

### ②野菜栽培形態別生産実績 (年間)

露 地	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	箱・kg	箱/反		収量 (kg)	箱・kg	箱kg/反
ブロッコリー	20.0	1,000	334箱	167箱	40.0	1,441	477箱 10kg	120箱
白 菜	30.0	9,000	600箱	200箱	30.0	15,300	990箱 450kg	340箱
キャベツ	30.0	12,000	60コンテナ	20コンテナ	45.0	9,932	20箱 #####	11コンテナ
いちじく	23.6			1500パツク			920パツク	
白ねぎ	15.0	6,750	450箱	300箱	15.0	0	0箱	0kg
青ねぎ					4.0		584kg	

※その他冬南瓜・下田なす等の作物を栽培しました。

※実績数値については、出荷日ベースでの生産量を上げています。

ハ ウ ス	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	袋・箱	袋箱/a		収量 (kg)	袋・箱	袋箱/a
小 松 菜	12.0	1,440	7,200袋	600袋	12.0	1,610	#####	670袋
ト マ ト	4.0	1,600	400箱	100箱		1,112	248箱	62箱
いちじく	3.0		200パツク					
くん炭							181袋	

※実績数値については、出荷日ベースでの生産量を上げています。

※その他大根・ほうれんそう・さつまいも等の作物を栽培しました。

### ③耕畜連携稲わら生産実績（JA稲わら生産供給組合）

稲わら	計 画				実 績			
	採集 面積 (a)	生産量			採集 面積 (a)	生産量		
		収集量 (kg)	梱包 (7kg)	梱包/反		収集量 (kg)	梱包	梱包/反
飼料用稲わら	1,200	33,600	4,800	40	1,100	33,303	5,166	47
合 計	1,200	33,600	4,800	40	1,100	33,303	5,166	47

実績…パレットによる重量出荷

#### [労 務]

「我が集落は我が集落民で守る」を合言葉に頑張っておりますが、オペレーターの固定化や年齢の上昇等を考える出役体制や、組合員の協力体制等について今後の対策が必要と考えられます。

野菜品目を増すことにより労働時間は増しますが、その分過重労働となりやすく、今年度もすこやか、なごやか営農グループの皆様のチームワークにたよる作業体制となりました。

労働力の体制整備中のなかで取り組んだ結果が下表の通りです。

#### 労務管理実績表

(単位：時間)

	計画	実 績					計画比 (%)	
		役員・OP	すこやかG	なごやかG	その他	合計		
穀類	水 稻 ( 8品種)	2,600	2,276	192		61	2,529	97.3%
	稲わら生産収集	490	446	50			496	101.2%
	小 麦 (農林61号)	600	672	10			682	113.7%
	大 豆 (種子・一般食糧)	2,990	662	2,651		27	3,340	111.7%
	計	6,680	4,056	2,903	0	88	7,047	105.5%
野菜	露 地 ( 5品種)	3,250	850	3,265		371	4,486	138.0%
	ハ ウ ス ( 3品種)	1,560	129		1,644	4	1,777	113.9%
	計	4,810	979	3,265	1,644	375	6,263	130.2%
共 通 (営業・事務・機械施設管理)	1,510	1,209			12	1,221	80.9%	
合 計	13,000	6,244	6,168	1,644	475	14,531	111.8%	

※24年度(1～12月)に投下した時間実績



# 営 業 部

平成24年度は米価値上がりにより売上高はアップいたしました。縁故米の販売につきましては組合員の皆様のご協力により、数量ベースで下げ止まることができ、金額では昨年を上回ることができました。また、野菜の販売も各グループの皆様のお力により、昨対で2倍以上の実績を上げることができました。24年度より始めました土曜市は回を重ねるごとに好評をいただいております、今後は区内のみならず近隣地域の消費者の獲得を目指していきたく思います。

## ①穀類市場（マーケット）別実績

水 稻		計 画			実 績			
		出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)
業 販	うるち玄米	1,013	12,000	12,156	959	15,117	14,497	119%
	もち(羽二重)玄米	250	14,400	3,600	246	14,900	3,665	102%
	過年度精算						1,950	
	小 計	1,263	12,154	15,756	1,205	15,529	20,112	128%
直 販	うるち玄米	560	15,400	8,624	521	16,794	8,750	101%
	もち(羽二重)玄米	7	20,400	143	9	21,000	189	132%
	小 計	567	15,426	8,767	530	16,866	8,939	102%
合 計		1,830	13,179	24,523	1,735	15,938	29,051	118%

(実績については、くず米の収入及び過年度の精算見込みと農業共済金を含んでいます。)

小 麦 農林61号		計 画			実 績			
		出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)
業 販		872	1,050	916	1,095	1,059	1,203	131%
過年度精算								
直 販								
合 計		872	1,050	916	1,095	1,059	1,203	131%

大 豆 ふくゆたか		計 画			実 績			
		出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)
業 販	種 子 用	369	22,000	8,118	280	27,000	6,927	85%
	食 糧 用	179	3,000	537	145	3,000	435	81%
	過年度精算						632	
	小 計	548	14,447	8,655	425		7,994	92%
直 販	種 子 用							
	食 糧 用							
	小 計							
合 計		548	14,447	8,655	425		7,994	92%

(実績については、くず大豆の収入及び過年度の精算見込みと農業共済金を含んでいます。)

②野菜栽培形態別販売実績

野菜	計 画			実 績				
	出荷量	単価 (円)	販売高 (千円)	出荷量	単価 (円)	販売高 (千円)	対比 (%)	
露 地	ブロッコリー	400箱	1,000	400	195	1,400	273	68%
	白菜	700箱	700	490	270	852	230	47%
	えびす南瓜	400箱	1,000	400	134	179	24	6%
	いちじく	1,500パック	400	600	937	343	321	54%
	キャベツ	75コンテナ	10,000	750	30	13,933	418	56%
	ネギ	210箱	2,000	420	—	—	—	—
	その他野菜						22	
	小 計	—	—	3,060	—	—	1,288	42%
ハ ウ ス	小松菜	7,200袋	70	504	7,027	59	413	82%
	いちじく	200パック	400	80	—	—	—	—
	トマト	400箱	1,050	420	91		108	26%
	その他野菜						103	
	小 計	—	—	1,004	—	—	624	62%
合 計			4,064	—	—	1,912	47%	

野菜市場（マーケット）別販売実績

品 目	業 販				直 販				合 計	
	大津・京都市場出荷		水口地方卸売市場		花野果市JA直売所		イベント・直売		数量 (—)	販売高 (千円)
	数量 (束・箱)	販売高 (千円)	数量 (束・箱)	販売高 (千円)	数量 (袋・束・個)	販売高 (千円)	数量 (袋・束・個)	販売高 (千円)		
ブロッコリー	190	246	—	—	15	27	—	—	205	273
白 菜	270	189	—	—	43	41	—	—	313	230
えびす南瓜	—	—	—	—	134	24	—	—	134	24
いちじく	79	16		11	858	294	—	—	937	321
小松菜	5,810	303	240	18	977	92	—	—	7,027	413
キャベツ	31	261	8	132	1	25			40	418
柿	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
トマト	—	—	31	36	60	72	—	—	91	108
その他		11		6		108	—	—	—	125
合 計	—	1,026		203		683	—	—	—	1,912

※業販＝JA・市場等への業者を通じた販売（学校給食含む）

直販＝直売所、ネット等を通じた直接販売

③耕畜連携稲わら販売実績（JA甲賀稲わら生産供給組合）

稲 わ ら	業 販		出荷量 (kg)	※出荷単価 (円/kg)	販売高 (円)
	飼料用稲わら	配 達	34,725	50	1,736,250
		引 取	—	—	—
合 計		34,725		1,736,250	
売上合計					1,736,250

実績・・・前年よりパレットによる重量出荷

## 機械施設部

安全・安心・新鮮な農産物を提供する為、機械施設部として、なが年課題でありました、米に混入する異物（雑草種子）等の除去のため、色彩選別機の導入を図りました。今まで上記の件が一般販売のネックとなっておりましたので、それが解消されたことにより営業戦略の幅が広がることを期待しています。

併せて、遠赤乾燥機No.1、No.2の2台の更新とフレコン出荷設備を導入しました。今後は、水稻収穫及び出荷作業等の作業効率がアップします。

オペレーターの農業機械及び乾燥施設の操作技術の取得については、若いオペレーターの出役はあるものの、マニュアル化が出来ず、熟練オペレーターに頼る結果となりました。

又、水稻育苗ハウスの2回転利用により、育苗ハウスを農機仮格納庫として使用するため改装を行い、同時に組合員皆様のご好意により今日まで使用させていただきました旧型小型農機等の処分を実施しました。

農機具の修繕費が前年度より残念ながら増加しています。これは、使用年数の長い機械が増えてきているのも一つの要因ではありますが、機械の取り扱いや、保守管理を含めた日常点検の見直しができなかったことが最大の反省点です。

機械の経年化で、更新が課題となってきますので、企画管理部と充分なる詰めを行い対応していきます。

### ① 農業機械投資（消費税込）

（単位：円）

物 件	台	取得額	※借入金	自己資金
ヤンマートラクター(中古) A F 33	1	1,350,000	0	1,350,000
シズオカ遠赤乾燥機 YFG-3000	2	5,720,000	5,600,000	120,000
山本色彩選別機、石抜機 フレコン出荷設備（計量器含）	1式	4,265,000	4,200,000	65,000
合 計		11,335,000	9,800,000	1,535,000

※ 日本政策金融公庫より人・農地プラン作成による政策融資を受ける（無利息）



## 企画管理部

### 【主に取り組んだ内容】

#### ① 酒人市「3土市」の定期開催スタート

営業部とタイアップし、4月から“地産地消”“区民交流”を合言葉に、地場野菜を中心に直売市を開催しています。のぼりや手作りチラシなど開催告知に工夫を凝らし、試行錯誤ながらも徐々に区民にも定着しつつあります。



#### ② 田舎で働き隊研修生による研修報告会

菊地明貴子さん（写真）は、酒人区の下期総集会の席上、区民の前で半年間の研修報告をされました。農作業はもちろん、酒人の行事や「ふあ〜む通信」制作に奮闘いただきました。今後のご活躍をお祈り申し上げます。



#### ③ 「収穫感謝祭 2012」開催

秋の恒例行事となりました収穫感謝祭は、「百円均一」「ガラガラ抽選会」が好評で、大盛況で終えることができました。来場ありがとうございました。



#### ④ 視察受け入れ状況

年	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
先	8	17	9	22	46	104	134	82	75	74	50	50	47
人	247	403	267	408	918	1,760	2,494	1,439	1,336	974	736	928	880

これまでに、延べ718団体、12,790の方が来村されました。

#### ⑤ 今年度の掲載記事

メディア	月日	内 容
日本農業新聞	3/11	震災機に脱サラ→甲賀市で農業研修 今月卒業
農業共済新聞	4/11	“大波小波”忍の血が育んだ集落営農

【平成24年度来視】

月 日	来 視 先	内 容	人数
1/22	農事法人 布引の里かみおうもり	先進事例視察	12
1/25	近畿農政局大津地域センター	現地視察	3
1/26	京都府土地改良事業団体連合会相楽支部	先進事例視察	18
1/29	大阪府茨木市見山地区都市農村交流活動推進委員会	先進事例視察	46
1/30	天理山辺地区営農連絡協議会	先進事例視察	11
2/ 2	坂出市議会市民グループ未来の会	先進事例視察	3
2/10	愛知県刈谷市泉田営農改善組合	先進事例視察	10
2/16	加古川市集落営農組織連絡協議会	先進事例視察	42
2/24	岐阜県海津市営農協議会	先進事例視察	60
3/ 1	福知山農作業受託組合協議会	先進事例視察	20
3/ 2	甲賀地域農業センター管轄集落営農法人	現地研修会	50
3/ 5	長野県駒ヶ根市営農センター	先進事例視察	47
	韓国(ジョンラドヨンアムグン)視察団	先進事例視察	18
3/ 6	福井県勝山市農業再生協議会	先進事例視察	13
3/ 7	長野県安曇野市富田農業振興会	先進事例視察	24
3/13	香川県坂出市農業技術員会	先進事例視察	11
3/14	岡山県美作市勝英大型稲作研究会	先進事例視察	9
3/15	福井県南越前町 古木営農生産組合	先進事例視察	9
4/23	安土町農事組合法人内野営農組合	先進事例視察	15
5/16	(農)永源寺ファーム	先進事例視察	8
5/18	滋賀県農政水産部農政課 学習院女子大教授	農地利用調整調査	3
6/ 9	農事組合法人グリーンファーム田中	先進事例視察	15
6/22	韓国金浦市農業技術センター	先進事例視察	22
6/24	福井県坂井市坂井町折戸区 (農)ひとつぶの里	先進事例視察	19
7/ 5	韓国協同組合研究所 地域農業ネットワーク	先進事例視察	3
7/10	宮城県仙台市岩切地区生産組合	先進事例視察	18
7/15	福井県勝山市(農)エコファームてらお	先進事例視察	15
7/19	鳥取市農業委員会	先進事例視察	30
7/27	甲賀農業農村振興事務所・甲賀市	直接支払交付金現地調査	2
7/30	三重県四日市市山田町営農組合	先進事例視察	23
8/ 1	J A 京都園部黒田支店水稻部会	先進事例視察	38
	山形県河北町農業委員会 京都府立大教授	先進事例視察	16
8/ 7	岐阜県羽島市農事改良組合連合会	先進事例視察	18
8/24	滋賀県農業再生協議会	事例調査	3
9/14	愛媛県 国安営農集団	先進事例視察	8

月 日	来 視 先	内 容	人数
10/ 3	稲わら生産供給組合ほか	現地研修会	20
10/26	J A静岡中央会 農地利用調整推進員	先進事例視察	17
10/28	蒲生町 葛巻営農組合	先進事例視察	19
11/ 2	石川県 志賀町土地改良区	先進事例視察	24
11/15	J A北大阪営農不動産部会三宅支部	先進事例視察	15
	岩手県花巻市議会産業建設常任委員会	先進事例視察	9
11/16	鳥取県倉吉市農業委員会	先進事例視察	28
11/21	長野県駒ヶ根市 東伊那営農組合	先進事例視察	23
11/25	蒲生町 岡本営農組合	先進事例視察	23
12/ 2	愛媛県 周布農振協周布土地改良区	先進事例視察	33
12/ 4	富山県入善町 農事組合法人 源	先進事例視察	6
12/13	農業協同組合新聞 編集委員	取材	1
合 計	47先 (前年度比 -3先)	880人 (前年度比 -48人)	

#### 【平成24年度講師派遣】

月 日	派 遣 先	主 催	内 容
2/11	東近江市	愛知川沿岸土地改良区	農業水利研究集会
3/ 4	亀岡市	河原林町国営農地再編整備事業推進協議会	講演
6/28	東京都 JA全国教育センター	全国農業協同組合中央会	講演
7/18	栗東市十里	滋賀県農業協同組合中央会	法人化相談会
11/20	大久保	大久保営農組合	法人化研修会
12/ 8	福井市	高志農業改良振興会	農業活性化推進大会

#### 【平成24年度受講研修】

月 日	研 修	出 席 者	内 容
1/12	J Aこうかいちじく生産部会	すこやかG	加工検討会
1/19	パソコン農業簿記研修会	菊地	研修会
1/21	集落営農型農業法人交流会	企画管理部 菊地	講演 交流会
1/28	徳島県 (株)いろどり	愛護会共同	視察研修
2/ 4	J Aこうか特別栽培米生産部会	伴	総会推進大会
	甲賀地域農業者のつどい	伴ほか	講演事例紹介
2/ 7	近畿府県農業法人組織現地交流会	伴	講演 交流会
2/ 8	花野果倶楽部	すこやかGなごやかG	視察研修
2/ 9	水口町露地野菜部会	すこやかG	研修会
3/ 7	花野果倶楽部	伴	総会
3/14	J Aこうかいちじく生産部会	すこやかG	研修会
3/15	都市農村交流実践講座	菊地	研修
3/22	契約かぼちゃ栽培技術研修会	すこやかG	研修会







# 貸借対照表

農事組合法人酒人ふあーむ

2012年12月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	50,794,566	<b>【流動負債】</b>	16,752,930
現金・預金	26,757,971	未払金	10,415,112
売掛金	8,706,771	リース債務	345,618
農産物	119,700	未払法人税・預り金等	5,992,200
棚卸品	912,184		
未収金	2,644,112	<b>【固定負債】</b>	60,732,781
仮払金	11,653,828	長期借入金	48,630,000
		農業経営基盤強化準備金	12,102,781
<b>【固定資産】</b>	50,063,245	<b>負債の部合計</b>	77,485,711
<b>【有形固定資産】</b>	49,189,439	<b>純資産の部</b>	
建築物	44,615,395	<b>【資本金】</b>	4,480,000
構築物	3,820,382	出資金	4,480,000
機械装置	19,694,157	<b>【利益剰余金】</b>	18,892,100
農機具	35,428,007	利益準備金	4,480,000
車両運搬具	2,630,000	当期末処分剰余金	14,412,100
工具器具備品	1,039,500		
減価償却累計額	△62,956,072	<b>純資産の部合計</b>	23,372,100
土地	2,844,362	<b>負債・純資産合計</b>	100,857,811
リース資産	2,073,708		
<b>【投資その他の資産】</b>	873,806		
外部出資金	50,000		
保険積立金	823,806		
<b>資産の部合計</b>	100,857,811		

# 損益計算書

農事組合法人酒人ふあーむ

自 2012年 1月 1日 至 2012年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
経常損益の部		
【事業損益の部】		
【事業収益】		
【販売高】		
販    売    高	44,801,799	
奨    励    助    成    金	20,718,924	
販    売    高    合    計		65,520,723
【事業費用】		
【生産原価】		
当    期    商    品    仕    入    高	346,777	
期    首    農    産    物    棚    卸    高	106,200	
当    期    農    産    物    原    価	39,231,888	
合                            計	39,684,865	
期    末    農    産    物    棚    卸    高	119,700	
事    業    原    価	39,565,165	39,565,165
事    業    総    利    益		25,955,558
【事業管理費】		
事    業    管    理    費    合    計	3,973,534	3,973,534
事    業    利    益		21,982,024
【事業外損益の部】		
【事業外収益】		
受    取    利    息	2,088	
雑    収    入	1,004,002	
事    業    外    収    益    合    計		1,006,090
【事業外費用】		
支    払    利    息	525,713	
事    業    外    費    用    合    計		525,713
経    常    利    益    金    額		22,462,401
【特別損益の部】		
【特別利益】		
農    業    経    営    基    盤    強    化    準    備    金    取    崩    益	5,719,998	
特    別    利    益    合    計		5,719,998
【特別損失】		
固    定    資    産    圧    縮    損	5,719,998	
前    期    損    益    修    正    損	41,101	
農    業    経    営    基    盤    強    化    準    備    金    繰    入	7,900,000	
特    別    損    失    合    計		13,661,099
税    引    前    当    期    純    利    益    金    額		14,521,300
法    人    税    等		109,200
当    期    純    利    益    金    額		14,412,100

# 事業管理費内訳書

農事組合法人酒人ふあーむ

自 2012年 1月 1日 至 2012年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額
福 利 厚 生 費	125,040
教 育 ・ 研 修 費	168,000
旅 費 交 通 費	25,120
広 告 宣 伝 費	330,190
通 信 費	154,009
交 際 費	772,980
諸 会 費	180,000
水 道 光 熱 費	46,470
修 繕 費	7,000
事 務 用 消 耗 品 費	317,263
租 税 公 課	493,414
賃 借 料	180,000
雑 費	767,306
税 務 顧 問 料	406,742
事 業 管 理 費 合 計	3,973,534

# 事業原価内訳書

農事組合法人酒人ふあーむ

自 2012年 1月 1日 至 2012年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
【総事業費用】		
【資材費】		
種 苗 費	4,044,872	
肥 料 費	5,681,930	
農 薬 費	2,260,464	
諸 材 料 費	924,059	
合 計	12,911,325	
資 材 費 合 計		12,911,325
【労務費】		
農 業 労 災 費	133,392	
労 務 費 合 計		133,392
【その他生産費】		
農 具 費	492,690	
作 業 委 託 料	2,817,183	
土 地 改 良 水 利 費	2,451,780	
動 力 光 熱 費	1,914,934	
修 繕 費	5,056,758	
荷 造 運 賃 送 費	626,630	
機 械 賃 借 料	222,075	
年 貢 料 ( 借 地 料 )	5,139,442	
農 業 共 済 費	1,591,929	
雑 費	117,262	
減 価 償 却 費	5,756,488	
そ の 他 生 産 費 合 計		26,187,171
当 期 事 業 原 価		39,231,888
合 計		39,231,888
当 期 農 産 物 原 価		39,231,888

## 剰余金処分案

(単位:円)

当期末処分剰余金の処分

項 目	金 額
当期末処分剰余金の処分	14,412,100
合 計	14,412,100
これを次のとおり処分する	
従事分量配当金	14,412,100
次期繰越剰余金	0

以上のとおり報告します。

農事組合法人酒人ふあーむ

代 表 理 事	福西 義幸
理 事	林 信博
理 事	西村 清秋
理 事	千廣 友次
理 事	伴 慎也
理 事	山領 茂
理 事	藤田 貢

附属明細書

前期実績・事業計画実績対比

自2012年1月1日～至2012年12月31日

単位:千円

勘定科目	前期実績①		事業計画②		実績額③		前期対比③-①		予算対比③-②	
	金額	@	金額	@	金額	@	金額	@	金額	@
[耕作面積]	408.2		換算408.2反		換算408.2反					
		408.2		408.2		408.2		0		0
[事業収益]										
[販売高]										
販売高	36,890	90	40,359	99	44,802	110	7,912	19	4,443	11
奨励・助成金	20,415	50	20,421	50	20,719	51	304	1	298	1
販売高合計	57,305	140	60,780	149	65,521	161	8,216	20	4,741	12
[事業費用]										
[期首農産物棚卸]	175		106		106		-69		0	
[商品仕入高]	0				347		347		347	
[資材費]										
[生]種苗費	3,717	9	3,877	9	4,045	10	328	1	168	0
[生]肥料費	4,895	12	6,676	16	5,682	14	787	2	-994	-2
[生]農薬費	1,741	4	1,650	4	2,260	6	519	1	610	1
[生]諸材料費	1,278	3	1,349	3	924	2	-354	-1	-425	-1
生産資材費合計	11,630	28	13,552	33	12,911	32	1,281	3	-641	-2
[労務費]										
[生]農業労災費	197	0	197	0	133	0	-64	0	-64	0
労務費合計	197	0	197	0	133	0	-64	0	-64	0
[その他生産費]										
[生]動力光熱費	1,896	5	1,900	5	1,915	5	19	0	15	0
[生]農具費	0	0	0	0	493	1	493	1	493	1
[生]修繕費	4,637	11	5,000	12	5,057	12	420	1	57	0
[生]機械賃借料	223	1	300	1	222	1	-1	0	-78	0
[生]年貢料(借地料)	5,121	13	5,122	13	5,139	13	18	0	17	0
[生]作業委託料	2,092	5	2,587	6	2,817	7	725	2	230	1
[生]土地改良水利費	2,452	6	2,453	6	2,452	6	0	0	-1	0
[生]農業共済費	1,452	4	1,445	4	1,592	4	140	0	147	0
[生]機械リース料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[生]荷造運賃送料	280	1	359	1	627	2	347	1	268	1
[生]雑費	263	1	256	1	117	0	-146	0	-139	0
[生]減価償却費	6,248	15	6,200	15	5,756	14	-492	-1	-444	-1
その他生産費合計	24,667	60	25,622	63	26,187	64	1,520	4	565	1
[期末農産物棚卸]	106		110		119		13		88	
事業費用合計	36,563	90	39,367	96	39,565	97	3,002	7	198	0
[事業総利益]	20,743	51	21,413	52	25,956	64	5,213	13	4,543	11
[生]労務費(従事分量配当)	11,738	29	13,000	32	14,412	35	2,674	7	1,412	3
[改め事業総利益]	9,005	22	8,413	21	11,544	28	2,539	6	3,131	8
[事業管理費]										
事業管理費合計	4,357	11	4,500	11	3,973	10	-384	-1	-527	-1
[事業利益]	4,649	11	3,913	10	7,571	19	2,922	7	3,658	9
[事業外損益]	696	2	696		480	1	-216	-1	-216	1
[経常利益]	5,344	13	4,609	11	8,051	20	2,707	7	3,442	8

(注)従事分量配当金は労務費として計算しています。

平成24年度事業実績明細表

自 2012/1/1 ~ 至 2012/12/31

単位:千円

勘定科目	米作		麦作		大豆		野菜		ハウス野菜		育苗	その他	合計
[耕作面積]	217.2反		174.3反		168.7反		17.5反		3.3反				408.2反
[事業収益]													
農産物売上高	29,051	134	1,203	7	7,994	47	2,786	159	1,103	334	0	0	42,136
その他売上高	1,940	9	0	0	1	0	349	20	174	53	2,646	-2,444	2,665
奨励助成金	3,999	18	11,976	69	4,498	27	241	14	5	1	0	0	20,719
売上高合計	34,990	161	13,179	76	12,493	74	3,376	193	1,282	389	2,646	-2,444	65,521
事業原価													
期首棚卸	57		0		50		0		0		0	0	106
商品仕入高	0		0		0		231		116		0	0	347
[資材費]													
[生]種苗費	2,572	12	441	3	705	4	795	45	180	55	1,797	-2,444	4,045
[生]肥料費	2,405	11	2,500	14	0	0	729	42	48	14	0	0	5,682
[生]農薬費	1,410	6	110	1	346	2	392	22	2	1	0	0	2,260
[生]諸材料費	381	2	19	0	60	0	351	20	113	34	0	0	924
資材費合計	6,769	31	3,069	18	1,111	7	2,268	130	342	104	1,797	-2,444	12,911
[労務費]													
[生]労災保険費	77	0	25	0	25	0	4	0	1	0	0	0	133
労務費合計	77	0	25	0	25	0	4	0	1	0	0	0	133
[経費]													
[生]動力光熱費	1,111	5	364	2	364	2	57	3	19	6	0	0	1,915
[生]農具修繕費	3,219	15	1,054	6	1,054	6	166	10	55	17	0	0	5,549
[生]機械賃借料	162	1	0	0	0	0	60	3	0	0	0	0	222
[生]年貢料(借地料)	2,981	14	976	0	976	6	154	0	51	16	0	0	5,139
[生]作業委託料	11	0	2,051	12	730	4	25	1	0	0	0	0	2,817
[生]農業水利費	1,324	6	515	0	515	3	74	4	25	7	0	0	2,452
[生]農業共済費	923	4	302	2	302	2	48	3	16	5	0	0	1,592
[生]生調拠出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[生]リース料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[生]荷造発送費	61	0	13	0	13	0	377	22	162	49	0	0	627
[生]雑費	68	0	22	0	22	0	4	0	1	0	0	0	117
[生]減価償却費	3,339	15	1,094	6	1,094	6	173	10	58	17	0	0	5,756
経費合計	13,198	61	6,392	37	5,072	30	1,139	65	387	117	0	0	26,187
期末棚卸	120		0		0		0		0		0	0	120
事業原価合計	19,981	92	9,487	54	6,257	37	3,642	195	846	221	1,797	-2,444	39,565
事業総利益	15,009	69	3,692	21	6,236	37	-266	-15	436	132	849	0	25,956
[生]労務費	5,191	24	1,342	8	2,770	16	3,769	215	1,340	406	0	0	14,412
改め事業総利益	9,818	45	2,350	13	3,466	21	-4,036	-231	-904	-274	849	0	11,543
[事業管理費]	2,305	11	755	4	755	4	119	7	40	12	0	0	3,974
事業利益	7,514	35	1,595	9	2,711	16	-4,155	-237	-944	-286	849	0	7,570
[事業外損益]	279	1	91	1	91	1	14	1	5	1	0	0	480
経常損益	7,792	36	1,686	10	2,802	17	-4,140	-237	-939	-285	849	0	8,050

(注) 従事分量配当金は労務費として計算しています。



# 監 査 報 告 書

平成 25 年 2 月 17 日

農事組合法人酒人ふぁ～む  
代表理事 福西 義幸 様

監 事 小林 伊佐治 ⑩

監 事 坂田 精平 ⑩

私たち監事は、平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日までの第 11 期事業年度の理事の職務の遂行、事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに附属明細書について監査しました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

- (1) 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、組合の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 剰余金処分案は、法令及び定款に適合しており、組合財産の状況及びその他の事情に照らし、指摘すべき事項は認められません。
- (4) 附属明細書については、特に指摘すべき事項は認められません。
- (5) 理事の職務遂行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

以上

# 平成25年度基本方針

## 〔基本テーマ〕

第五次3ヵ年（23年～25年）

「選択」と「集中」 安定経営への基盤構築

## 〔理念〕

1. 人づくり
2. 組織づくり
3. 産地づくり
4. 地域づくり
5. お客様づくり

## 〔基本方針〕

1. 将来に向けた経営資源の確保
2. 高収益基盤体制の確立
3. 販売ルートの拡大戦略
4. 人材育成と後継者の育成
5. お得意様との交流の場の拡大
6. IT活用による情報の共有化

昨年末の総選挙により政権交代が行われたが、現段階では、例外なき関税撤廃へのTPPは不参加と申明しており、ここ数年の農業経営に直接的に影響をすることは少ないと考えられるが、将来的には、農業分野においても自由貿易体制に入るとは十分に予測しておかなければなりません。

当組合は、昨年まで経営コンサルの指導や先進地研修等により得た農業経営の成功事例や多くの情報の収集を行ってまいりましたが、現段階では多くの成功事例から学べることは、「農業経営の6次産業化」が一つの経営安定化への解決方策と考えられます。

今年度は、第五次3ヵ年計画の最終年度であり、“「選択」と「集中」・安定経営への基盤構築”へのテーマに結論を付ける年度であることから、各部門の未達成の事業を推進するとともに、組合員へのサービス拡大や6次産業化への事業推進を具体化するとともに、次期中期計画に繋がる戦略展開へ踏み込んだ事業計画を推進してまいります。

# 平成25年度事業計画書

## 生産部

昨年度から人・農地プラン作成に向けた説明会が各地で開催され、我が地区においては、酒人ふぁ～むを担い手と位置づけて申請をしております。より地域に貢献する経営体になり持続可能な力強い農業を目指します。併せて6次産業化を推し進めるための施策の活用も考える時期になっています。

農業を成長産業とされても、条件付ではあるがTPP協定 協議を意図した農業の根幹を崩す議論がなされ、農家の生活を脅かす状態にあります。新政策や農業情勢を的確に把握しつつ、今までの作付け方針を維持しながら、攻めの農業を考え、食糧、農業、農村を担っている農業法人としての誇りと使命をもって取り組みます。

### 栽 培

- ・営業部との両輪で「売るために作る」「求められているものを作る」をスローガンに安全、安心、顔の見える新鮮な食材を生産します。
- ・機械施設部と連携した農機の効率稼働による生産コスト削減に努めます。
- ・各グループとの連携をとり、野菜、果樹の栽培により力を入れます。

### [重点方針]

1. 品質・環境に配慮した農業  
減化学肥料、減農薬栽培技術の修得及び無農薬・無化学肥料への取組
2. 売価に見合った生産原価  
コスト意識と営業意識の徹底
3. 的確な栽培管理  
増収、品質アップ、安定技術による生産工程管理の実施
4. 新品種、新規作物・新技術の導入（少量多品目栽培の取組）  
水稻（みずかがみ）産直への取組強化 いちじく栽培技術の向上

### [事業計画]

#### ① 25年度穀類生産計画

水		栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	俵 (60kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)
稲	うるち玄米	2,000.4	510	8.5	102,000	1,700.0
	もち(羽二重)玄米	297.7	480	8.0	14,290	238.0
	合 計	2,298.1	506	8.43	116,290	1,938.0

小		栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	俵 (60kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)
麦	農林61号	1,709.7	300	5	51,291	855
	合計	1,709.7	300	5	51,291	855

大		栽培面積 (a)	10a当り		生産量		
			収量 (kg)	俵 (60kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)	
豆	ふくゆたか	種子用	1,074.7	180	3	19,344	322
		食糧用	635.0	210	3.5	13,335	222
	合計	1,709.7	191	3.18	32,679	544	

### ② 25年度野菜栽培形態別生産計画

露	品目	栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	出荷量	総収量 (kg)	出荷量
地	ブロッコリー	20.0	500	166箱	1,000	333箱
	白菜	30.0	3,000	200箱	9,000	600箱
	キャベツ	30.0	4,000	20コンテナ	12,000	60コンテナ
	いちじく	23.6				1,500パック
	ねぎ	15.0	4,500	300箱	6,750	450箱

ハ	品目	栽培面積 (a)	1a当り		生産量	
			収量 (kg)	出荷量	総収量 (kg)	出荷量
ウ	小松菜	12.0	120	600袋	1,440	7,200袋
	トマト	4.0	400	100箱	1,600	400箱
	いちじく	3.0				200パック

### ③ 25年度耕畜連携稲わら生産計画 (JA稲わら生産供給組合)

稲		採集面積 (a)	10a当り		生産量	
			収集量 (kg)	梱包 (7kg)	総収集量 (kg)	出荷量 (梱包)
わ	飼料用稲わら	1,200	280	40	33,600	4,800
	合計	1,200	280	40	33,600	4,800

## 労 務

効率的な作業体制確立のため、企画管理部と共に経営認識を高揚するハード面での体制整備を行い、労務見直しと同時に農作業のマニュアル化を図ります。

### [重点方針]

1. プロらしい効率作業
2. プロが耕す農地保全
3. 未然に防ごう労働災害
4. 農作業機械操作技術の習得

### [事業計画]

- ① 作業手順の確立  
作業マニュアルの作成による稼ぐための労務
- ② 就労時間が作物別収支のバロメーター  
作物別労務配分の強化

#### 【作物別労働時間計画】

(単位：時間)

	水稲		小麦	大豆	露地 野菜	ハウス 野菜	共通	合計
	栽培・ 収穫	稲わら 収集	栽培・ 収穫	栽培・ 収穫 手選別	栽培・ 収穫	栽培・ 収穫	営業・事 務・施設	
<b>配分率</b>	<b>18%</b>	<b>4%</b>	<b>5%</b>	<b>21%</b>	<b>32%</b>	<b>12%</b>	<b>8%</b>	<b>100%</b>
1月	40			1,000	320	100	130	1,590
2月	40			1,200	330	110	280	1,960
3月	60		40		250	110	60	520
4月	300		30		250	110	60	750
5月	490		160		300	120	50	1,120
6月	100		180	50	400	150	80	960
上期	1,030	0	410	2,250	1,850	700	660	6,900
7月	140			130	450	140	80	940
8月	140			30	450	140	80	840
9月	580	200		30	600	150	80	1,640
10月	400	280	50	40	500	200	110	1,580
11月	90		150	40	300	190	110	880
12月	90		40	480	350	180	80	1,220
下期	1,440	480	240	750	2,650	1,000	540	7,100
合計	<b>2,470</b>	<b>480</b>	<b>650</b>	<b>3,000</b>	<b>4,500</b>	<b>1,700</b>	<b>1,200</b>	<b>14,000</b>

## 営 業 部

ＴＰＰ加盟問題に揺れる今日、営業部は消費者の皆さんに食の安全、安心を訴えながら酒人製品の近隣地域への販売を最重点に全員営業の活動を行ってまいります。また、インターネット販売をより有効活用できるよう、工夫していきます。

### [重点方針]

- 1 酒人製品の直販強化、販路拡大  
特に酒人米
- 2 ネット販売の充実
- 3 加工食品販売への取組み（6次産業化）

### [事業計画]

- ① 3土市の充実強化（フルーツ祭り）  
白米販売の拡充  
生産部との連携強化
- ② 休祭日における移動販売の実施（圃場から玄関へ）

#### ① 25年度穀類市場（マーケット）別販売計画

水	業 販		出荷量（俵）	出荷単価（円/俵）	販売高（千円）
		うるち玄米	1,000	14,000	14,000
	もち（羽二重）玄米	218	14,900	3,250	
	小 計	1,218	14,162	17,250	
稲	直 販		販売量（俵）	販売単価（円/俵）	販売高（千円）
		うるち玄米	650	16,800	10,900
		もち（羽二重）玄米	20	21,000	420
		小 計	670	16,925	11,320
合 計		1,888	15,143	28,570	

小麦	業 販		出荷量（俵）	出荷単価（円/俵）	販売高（千円）
		農林61号	855	1,170	1,000
合 計		855	1,170	1,000	

大豆	業 販		出荷量（俵）	出荷単価（円/俵）	販売高（千円）
	ふくゆたか	種子用	322	26,708	8,600
		食糧用	222	3,018	670
小 計		544	17,040	9,270	

② 25年度野菜栽培形態別販売計画

露地	品目	出荷量	売価単価(円)	販売高(千円)
		ブロッコリー	333箱	1,500
	白菜	600箱	750	450
	キャベツ	60コンテナ	15,500	930
	いちじく	1500パック	400	600
	ネギ	450箱	710	320
	小計			2,800
ハウス	小松菜	7200袋	69	580
	トマト	400箱	800	320
	いちじく	200パック	400	80
	その他野菜			240
	小計			1,220
合計				4,020

野菜市場(マーケット)別販売計画

品目	業 販				直 販				合 計	
	大津・京都市場出荷		中食・外食・食材企業		花野果市JA直売所		イベント・直売		数量 (-)	販売高 (千円)
	数量 (束・箱)	販売高 (千円)	数量 (束・箱)	販売高 (千円)	数量 (袋・束・個)	販売高 (千円)	数量 (袋・束・個)	販売高 (千円)		
ブロッコリー	250	340	-	-	50	110	99	50	333	500
白菜	400	290	-	-	150	100	50	60	600	450
キャベツ	50	780	-	-	8	120	2	30	60	930
いちじく	400	130	-	-	1,200	520	100	30	1,700	680
ネギ	200	120	-	-	200	160	50	40	450	320
小松菜	5,000	400	-	-	2,000	160	200	20	7,200	580
トマト	50	30	-	-	300	240	50	50	400	320
その他野菜								240		240
合計		2,090	-	-	-	1,410	-	520	-	4,020

※業販=JA・市場等への業者を通じた販売(学校給食含む)

直販=直売所、ネット等を通じた直接販売

③ 耕畜連携稲わら販売計画(JA甲賀稲わら生産供給組合)

稲わら	業 販	出荷量(梱包)	※出荷単価(円/梱包)	販売高(千円)
		飼料用稲わら	4,800	350
	合計	4,800	350	1,680

※1梱包=7kgとした場合





## 機械施設部

民主党政権から自民政権に変わり、今後の政策が不透明ではありますが、補助金があるから投資するのではなく、「酒人ふぁ～む」の現状を踏まえ、本当に必要な投資であるかを吟味し、経費を削減した低コスト農業に努めます。

只、TPP協定の動向、農産物の輸出入の自由化など、一次産業である農業にとって 今後向かい風はますます強まることが想定されます。

どのような風が吹こうとも一步も退かない備えは必要であり、現有農機の経年化で更新課題と併せて各部と充分連携し対応していきます。

### [重点方針]

1. 保有資源を見直し
2. 低コスト農業のための自己管理

### [事業計画]

- ① 機械設備に強いオペレーターの養成と誰にでも操作が出来る作業
  - ・ マニュアルの作成（簡易な取扱説明書の常備）
  - ・ 共有財産であるという意識を持ち 丁寧な取り扱いを行う
  - ・ 免許・資格の取得及び有資格者の確認
- ② 維持コストと更新コストを考えた投資判断と経費の圧縮

投資計画

(単位 円)

年度	投資予定資産	取得額	※交付助成金	自己資金
25年度	① 軽ライトバン (中古)	700,000		700,000
	②大豆選別選粒機	2,200,000	1,100,000	1,100,000
	③野菜移植機	630,000	210,000	420,000
	④野菜管理機	350,000	116,000	234,000
合 計		3,880,000	1,426,000	2,454,000

※交付助成金は概算見込み額

①は6次産業化支援事業(1/2助成)

②③は経営体育成支援事業 融資主体型 (1/3助成)

## 企画管理部

### [重点方針]

1. 「管理」から「企画」・「実践」に重心をおいた部内運営
2. 農業自由化への対応～安定した経営基盤の確立
3. 6次産業化への対応～当地にあった仕組みづくり
4. 魅力のある、働きがいのある組織体制づくり

### [具体的実施内容]

#### 1. 3土市の定着から拡大へ（6次産業化）

- ① 第3土曜に開催する「3土市」が区内で認知され、毎月の市を楽しみにお年寄りや主婦の来店を頂くことになりました。  
少量多品種（何でも揃う）体制を目指しているため、商品の大半を仕入に頼っておりますが、さらにハウス栽培や露地栽培の品種を揃え、地場産品の拡充を図り収益確保に繋げてます。
- ② 区外からの顧客獲得のための方策について、中長期的戦略として計画の具現化を図り、実現可能なものから拡大戦略の展開を図ります。
- ③ 農産物のデリバリーサービス（配達サービス）実現へ  
自宅で農産物を保管する時代から必要な時・必要な量を配達するデリバリーサービスの需要増加が見込めることから、保管・配達・品質管理の実現体制化を目指します。

#### 2. 付加価値の高い商品開発にチャレンジ

完全有機・無化学肥料米の栽培は、本年で3年目を迎えることとなり、昨年まで蓄積した栽培ノウハウをもとに、栽培規模を2倍に拡張し、安定生産と生産量の確保を図ります。あわせて、JAS（日本農林規格協会）の有機農産物（有機JAS）の認定取得を目指し、有機農産物として高付加価値商品が販売できる体制を中長期的に目指します。

#### 3. 組合協力組織の充実強化対策

- ① 従事分量配当の完全前払い  
各協力組織への従事分量配当金の支払方法を翌月前払制に移行し、組合員の出役協力に早期に報いることにより、組合員の出役意欲の高揚を図り、生産力の確保と生産効率アップを図ります。

## ② オペレータ出役率の向上

オペレータ出役率の向上を図るため、意識調査の実施を図り、出役協力を再度浸透するとともに、作業内容やスケジュール・出役依頼等について情報共有ツールを利用した作業の「見える化」を推進します。

また、作業服のリニューアルや出役に応じたインセンティブの検討も進め、出役率向上対策を検討します。

## ③ 教育訓練機会の拡大による後継者育成

若手オペレーターメンバーの講習会参加を積極的に進め、人材育成と農業技術のレベルアップや資格取得をサポートし、後継者育成を図ります。

## 4. 組合員への利益配分の実現

組合員皆様には、多額の増資承諾をいただき、当組合も設立から11年を経過し、やや安定した経営が確保できる状況となってきたことから、組合員へ従事分量配当と利益配当の2本立ての還元が実施できるよう収益確保ができる経営体制を維持してまいります。

## 5. 小学生（児童）への農業体験機会の実施

地権者の農業委託が進み、将来を担う若年世代の農業体験機会がなくなり、農業離れが懸念される中で、PTA（父兄）と提携し小学生（児童）へ継続的な農業体験機会の提供を行い、農業の苦勞と楽しみを体験してもらい、「地域に育ち地域を守る」意識の浸透を図る機会づくりを推進します。

## 6. 利用権の設定（人・農地プラン）

農業委員会に利用権（期間更新）を認めてもらうことで、これまで築いてきた農地集積を維持継続することができます。地権者のメリットを考慮しながら進めてまいります。ご賛同よろしくお願い申し上げます。

平成25年度事業計画明細表

自 2013/1/1 ~ 至 2013/12/31

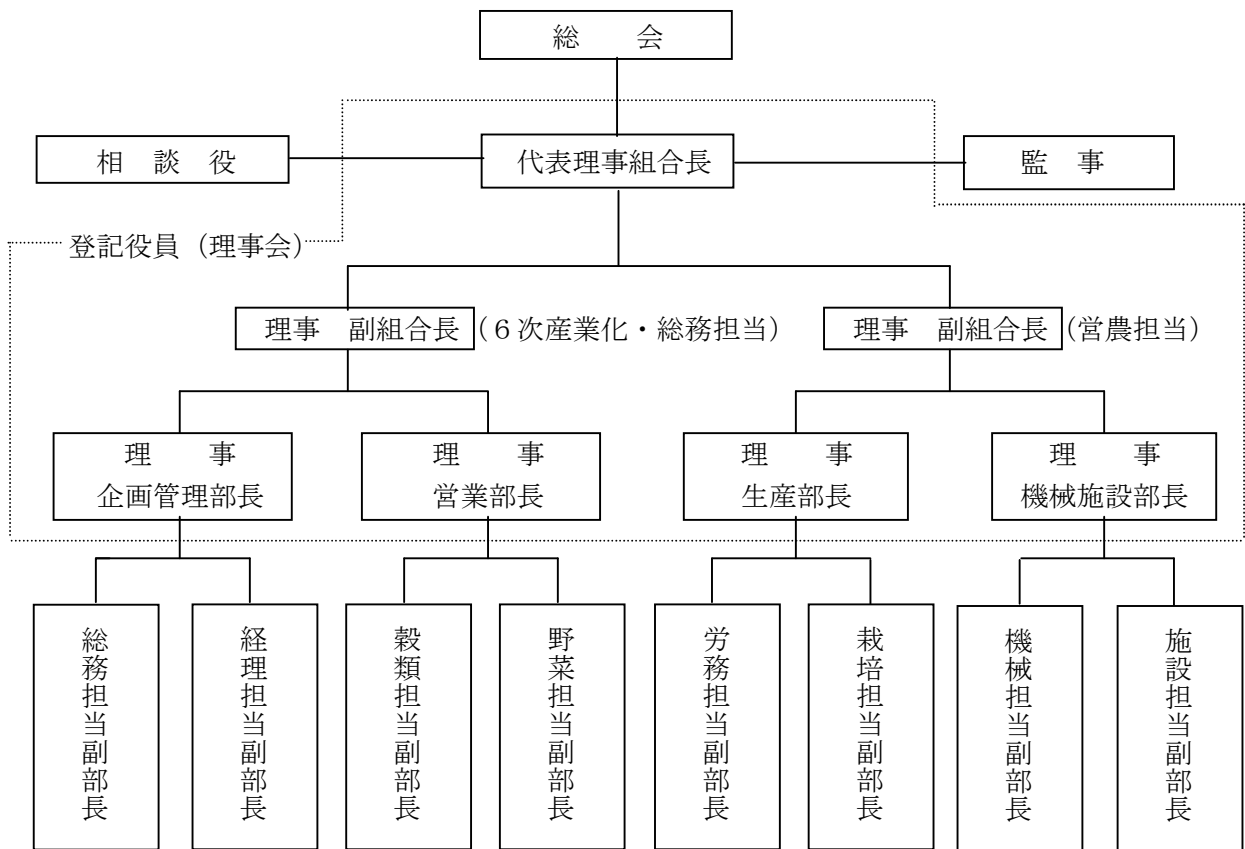
単位:千円

勘定科目	米作		麦作		大豆		野菜		ハウス野菜		育苗	その他	合計
[耕作面積]	229.8反		171.0反		171.0反		11.9反		3.3反				416.0反
[事業収益]													
農産物売上高	29,800	130	1,000	6	9,270	54	2,800	235	1,220	370	0	0	44,090
その他売上高	1,900	8	0	0	0	0	400	34	200	61	2,600	-2,400	2,700
奨励助成金	4,154	18	10,847	63	4,747	28	339	28	113	34	200	0	20,400
売上高合計	35,854	156	11,847	69	14,017	82	3,539	297	1,533	465	2,800	-2,400	67,190
事業原価													
期首棚卸	120		0		0		0		0		0	0	120
商品仕入高	0		0		0		250		120		0	0	370
[資材費]													
[生]種苗費	2,400	10	450	3	600	4	1,000	84	200	61	1,820	-2,400	4,070
[生]肥料費	2,700	12	2,600	15	0	0	800	67	100	30	0	0	6,200
[生]農薬費	1,500	7	120	1	400	2	400	34	40	12	0	0	2,460
[生]諸材料費	500	2	50	0	50	0	300	25	120	36	0	0	1,020
資材費合計	7,100	31	3,220	19	1,050	6	2,500	210	460	139	1,820	-2,400	13,750
[労務費]													
[生]労災保険費	99	0	32	0	32	0	5	0	2	1	0	0	170
労務費合計	99	0	32	0	32	0	5	0	2	1	0	0	170
[経費]													
[生]動力光熱費	1,131	5	371	2	371	2	59	5	20	6	0	0	1,950
[生]農具修繕費	3,480	15	1,140	7	1,140	7	180	15	190	58	0	0	6,130
[生]機械賃借料	145	1	48	0	48	0	108	9	3	1	0	0	350
[生]年貢料(借地料)	2,981	13	977	0	977	6	154	0	51	16	0	0	5,140
[生]作業委託料	50	0	2,000	12	700	4	50	4	0	0	0	0	2,800
[生]農業水利費	1,423	6	466	0	466	3	74	6	25	7	0	0	2,453
[生]農業共済費	950	4	300	2	300	2	50	4	30	9	0	0	1,630
[生]生調拠出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[生]リース料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[生]荷造発送費	0	0	0	0	0	0	450	38	180	55	0	0	630
[生]雑費	87	0	29	0	29	0	5	0	2	0	0	0	150
[生]減価償却費	3,480	15	1,140	7	1,140	7	180	15	60	18	0	0	6,000
経費合計	13,727	60	6,469	38	5,169	30	1,308	110	559	170	0	0	27,233
期末棚卸	150		0		50		0		0		0	0	200
事業原価合計	20,896	91	9,721	57	6,201	37	4,063	320	1,141	309	1,820	-2,400	41,443
事業総利益	14,958	65	2,126	12	7,816	46	-524	-44	392	119	980	0	25,747
[生]労務費	5,334	23	1,337	8	2,937	17	3,869	325	1,523	462	0	0	15,000
改め事業総利益	9,624	42	789	5	4,879	29	-4,393	-369	-1,131	-343	980	0	10,747
[事業管理費]	2,436	11	798	5	798	5	126	11	42	13	0	0	4,200
事業利益	7,188	31	-9	-0	4,081	24	-4,519	-380	-1,173	-355	980	0	6,547
[事業外損益]	403	2	132	1	132	1	21	2	7	2	0	0	696
経常損益	7,592	33	123	1	4,213	25	-4,499	-378	-1,166	-353	980	0	7,243

(注) 従事分量配当金は労務費として計算しています。

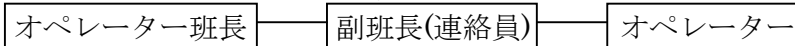
# 農事組合法人酒人ふあ～む組織図

平成 25 年 2 月 24 日現在



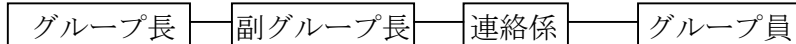
## 酒人ふあ～む協力組織

### ① オペレーターグループ (ふあ～む直轄)



☆酒人区内に居住し、集落営農の趣旨に賛同し、オペレーターとして出役が可能で営農意欲のある 20 歳以上 55 歳以下の男子 (登録制)

### ② なごやか営農グループ (組合員組織)



☆酒人区住民で、集落営農の趣旨に賛同し、組合の業務 (作業) に出役頂ける 56 歳以上 65 歳未満の男子及び 20 歳以上 65 歳未満の女子

### ③ すこやか営農グループ (組合員組織) ～酒人老人会のメンバー



☆シルバー世代の酒人区住民で、集落営農の趣旨に賛同し、組合の業務 (作業) の一部を担当頂くグループ

### ④ やすらぎ営農グループ (ボランティア) ～酒人敬老会の大関・横綱グループ

☆囲炉裏端会議のメンバーで、雑草取りの名人

# 農事組合法人酒人ふあ～む組合員名簿

平成 25 年 2 月 24 日 現在

No.	垣戸	コード	組合員名	No.	垣戸	コード	組合員名
1	上 (10)	101		31	中 (5)	401	
2		102		32		402	
3		103		33		404	
4		104		34		408	
5		105		35		409	
6		106		36	寺 (6)	501	
7		107		37		502	
8		108		38		503	
9		109		39		505	
10		110		40		506	
11	清水 (8)	201		41		椎名 (9)	507
12		202		42	601		
13		203		43	603		
14		204		44	604		
15		205		45	605		
16		207		46	607		
17		208		47	608		
18		209		48	610		
19	奥出 (12)	301		49			612
20		302		50		613	
21		304		51		北出 (4)	701
22		305		52	702		
23		306		53	703		
24		308		54	706		
25		309		55	八 (2)	805	
26		311		56		809	
27		313					
28		314					
29		315					
30		316					

## 【表紙の解説】



研修報告会（田舎で働き隊）



酒人消防団



酒人市（3土市）



収穫感謝祭



収穫感謝祭



稲わら生産（運搬）



すこやか営農グループ



すこやか営農グループ



なごやか営農グループ



なごやか営農グループ



オペレーター



無農薬・無化学肥料田



乾燥機・色彩選別機



酒人田園環境愛護会



役員・オペレーター





農事組合法人 酒人ふあ〜む

2013/2/24

## 機械施設部

民主党政権から自民党政権に変わり、今後の政策が不透明ではありますが、補助金があるから投資するのではなく、「酒人ふぁ～む」の現状を踏まえ、本当に必要な投資であるかを吟味し、経費を削減した低コスト農業に努めます。

只、TPP協定の動向、農産物の輸出入の自由化など、一次産業である農業にとって 今後向かい風はますます強まることが想定されます。

どのような風が吹こうとも一步も退かない備えは必要であり、現有農機の経年化で更新課題と併せて各部と充分連携し対応していきます。

### [重点方針]

1. 保有資源を見直し
2. 低コスト農業のための自己管理

### [事業計画]

- ① 機械設備に強いオペレーターの養成と誰にでも操作が出来る作業
  - ・ マニュアルの作成（簡易な取扱説明書の常備）
  - ・ 共有財産であるという意識を持ち 丁寧な取り扱いを行う
  - ・ 免許・資格の取得及び有資格者の確認
- ② 維持コストと更新コストを考えた投資判断と経費の圧縮

投資計画

(単位 円)

年度	投資予定資産	取得額	※交付助成金	自己資金
25年度	① 軽ライトバン (中古)	700,000		700,000
	②大豆選別選粒機	2,200,000	1,100,000	1,100,000
	③野菜移植機	630,000	210,000	420,000
	④野菜管理機	350,000	116,000	234,000
合 計		3,880,000	1,426,000	2,454,000

※交付助成金は概算見込み額

②は6次産業化支援事業(1/2助成)

③④は経営体育成支援事業 融資主体型 (1/3助成)